

大型ディスプレイ& デジタルサイネージ総覧 2017

◆2017 新年度版発刊しました◆

(発刊あいさつより抜粋)

…この「大型ディスプレイ&デジタルサイネージ総覧 20xx」は、2009年から続くデジタルサイネージの専門年鑑です。9年目・9冊目の刊行となりましたが、2015年後半から昨年2016年にかけて、本書籍への関心が急に高まった様で、この時期から多くの問い合わせを頂くようになりました。これは取りも直さず、産業として、また一般においても、デジタルサイネージの文言が知られ、巷間の興味の対象としてそれまで以上に認知・意識が広まった、その反映と考えられます。

…“デジタルサイネージ”という文言が、聞かれ始めたのは2007年辺りからでした。電子看板や、業務用ディスプレイの用途…など、都度様々な名称で呼ばれ各所で目にしたものの、実態は、設置・運用と撤去の繰り返しでした。…新しいICTサービスなのですが、アナログからデジタルへの移行、また、世間一般に認知されるには相応の期間“タイムラグ”が付きもので、2011年を過ぎた辺りから伸長が顕著となりました。

今回、次世代ロボット・パートナロボットもサイネージであるという考え方。ないし、サイネージに連携するものとして取り上げました。

…サイネージもロボットも、2017年現在本格的な伸長期にあります。…サイネージもロボットも、“頭脳・AIをクラウド側に置いた端末”として、“頭脳”は常に進化し、機能は向上し続ける。より実用的で人の活動全般に、不可欠でごく自然な存在になって行くものと推察できます。道具(ディスプレイやロボット)とサービス(AI・クラウドビジネス)、これもまたシンクロして、人のためになる、役に立つ環境が創出されて行くものと言えます。

2017年7月吉日

◆主な読者層◆

- ・大型映像メーカー 大型ビジョン事業者 デジタルサイネージユーザ
- ・プロダクション 設計会社 広告会社 周辺機器メーカー 部材メーカー
- ・研究者 大学 ゼネコン クリエイター 制作会社 放送局 コンテンツホルダ
- ・IT関連企業 通信事業者 など幅広い業界の方々に購読されています。

◆発刊日 : 2017年 7月 6日

◆体 裁 : A4版 150頁

◆頒 価 : ¥9,200(¥9,936消費税込み)

◆申込方法 : FAX、E-mail にて申込下さい。



株式会社

日本・社会システムラボラトリー

Nippon Social System Laboratory, Inc.

ディスプレイと社会 編集部

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティW22F

TEL 03-4360-5673

FAX 050-3485-8835

E-mail: info@nslabo.jp URL http://www.nslabo.jp

I.特別寄稿

★発刊によせて・大型ディスプレイ&デジタルサイネージ総覧 2017

◆発行人日本・社会システムラボラトリー社長 ごあいさつ

発行人 足立吉弘

◆「大型ディスプレイ&デジタルサイネージ総覧2017」編集長 川田宏之

★高度映像・情報技術と今後の市場

◆8K 技術と産業利活用

実用化に近づいた 8K 内視鏡システム

カイロス株式会社 取締役

一般社団法人 MIC: メディカル・イメージング・コンソーシアム 理事

山下 紘正 5

◆新表現・新用途

空中結像

ースクリーン不要のバーチャルリアリティー

株式会社 コト 開発部

高橋 潤 15

◆アーカイブと超大容量ストレージ

4K/8K 時代のストレージ・ソリューション考察

IBM 東京ラボラトリー

研究開発・システム開発

藤原 忍 18

◆VR の拡大展開:土木・建設・建築からエンタメ

日本一の VR ソフト「UC-win/Road」でマッピング業界にも新風

フォーラムエイトの伊藤社長に聞く

株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長 伊藤 裕二

大型ディスプレイ&デジタルサイネージ総覧 2017

編集長 川田 宏之 20

I.特別寄稿

◆ルータを使わない光インフラ:超低遅延・超低エネルギーロス

ダイナミック光パスネットワーク技術による
超低遅延 4K/8K テレセッション

国立研究開発法人産業技術総合研究所
電子光技術研究部門

黒須 隆行 松浦 裕之 並木 周 24

◆次世代ロボット・パートナーロボットもサイネージの仲間

介護市場におけるコミュニケーションロボットの活用について
～株式会社エクシングの取り組み～

株式会社エクシング 技術開発部

伊藤 秀樹 31

◆V-Low:サイネージに電波(放送波)インフラの有効性

災害時も役立つ V-Low マルチメディア放送を活用した

新しいデジタルサイネージ
株式会社アマネク・テレマティクスデザイン

代表取締役社長

今井 武 37

◆上級 ICT サイネージ

並列するコミュニケーションメディア時代の
オウンドメディア店舗活用

<デジタルサイネージシステム FLOW シリーズのご案内>

株式会社インセクト・マイクロエージェンシー

代表取締役

川村 行治 41

◆通信キャリアのデジタルサイネージ展開

秋葉原 UDX ビジョン事業と今後の展望

株式会社エヌ・ティ・ティ・アド: NTT アド

メディア局 局長

出口 秀一 47

Ⅱ.本 編

◆第1章 大型ディスプレイの最新市場・動向

1.1 業務用大型フラットパネルディスプレイ市場動向

IHS テクノロジー
ディレクター IT&大型ディスプレイ市場担当アナリスト
氷室 英利 55

1.2 大型 LED ディスプレイを利用した街頭大型ビジョン事業の現状

～札幌と那覇の状況を中心に読み解く～

大型ディスプレイ&デジタルサイネージ総覧 2017
編集長 川田 宏之 59

◆第2章 大型ディスプレイ&サイネージの最新技術動向

2.1 高精最新ソリューションで業界をリードするシャープの新製品と導入事例

ディスプレイと社会編集部 66

2.2 最新のサイネージシステムを支えるジーベックスのソリューション技術

ディスプレイと社会編集部 70

2.3 大超高精細 LED ディスプレイで

業界をリードするシリコンコア・テクノロジー

ディスプレイと社会編集部 75

2.4 数多くの設置実績がある HY-システムのフルカラーLED 大型映像システム

ディスプレイと社会編集部 80

2.5 大型 LED ディスプレイ中心に市場を拡大するレイヤードジャパン

ディスプレイと社会編集部 83

◆第3章 デジタルサイネージの最新動向

3.1 新しいライブ映像について

株式会社コロレ取締役
プロジェクションマッピング事業部部长
浦島 啓 86

3.2 タケナカの総合力で実現する日本全国の

プロジェクションマッピング関連イベント
ディスプレイと社会編集部 90

Ⅱ.本 編

- 3.3 NHK アイテックの大型映像表示システム、サイネージ事業への取り組み
～4K・8K マルチビジョンと多機能型デジタルサイネージ～
株式会社 NHK アイテック
映像・情報ビジネス部門 山上 順一 岩館 祐
放送・通信ネットワーク部門 清水 利紀 96
- 3.4 全国に広がる PDC の映像システムソリューション
ディスプレイと社会編集部 106
- 3.5 発展を続ける PAS:パス・コミュニケーションズの大型ビジョンビジネス
ディスプレイと社会編集部 110
- 3.6 JR 東日本の交通広告における「デジタルサイネージ」のトピックス
～拡大する駅ナカサイネージと山手線新型車両「E235 系」の量産開始～
株式会社ジェイアール東日本企画
交通媒体本部 山本 孝 113

◆第 4 章 大型ディスプレイ&デジタルサイネージ 関連団体の取り組み

◆DSC:デジタルサイネージコンソーシアム 各部会の取り組み

- 4.1 DSC:2017 年度最新の紹介
一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム 理事長
中村 伊知哉 118
- 4.2 DSC:デジタルサイネージコンソーシアムの活動
一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム 常務理事
江口 靖二 121
- 4.3 「ユーザーズ部会」の活動と
「Lアラートワーキンググループ」の取り組み
一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
ユーザーズ部会
山本 孝 124
- 4.4 「プロダクション部会」の取り組み
一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
プロダクション部会
宿院 卓馬 127

Ⅱ.本 編

- 4.5 「ユーザー・エクスペリエンス部会」の活動と
「アテンドサイネージガイドライン」
一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
ユーザー・エクスペリエンス部会 幹事
株式会社ネクスウェイ サイネージネットワーク推進室
プロジェクトリーダー 小坂 悠真 134
- 4.6 「マーケティング・ラボ部会」の活動
～研究成果、書籍「デジタルサイネージ 2020」の発刊～
一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
マーケティング・ラボ部会 幹事
株式会社オリコム OOH局
プロジェクトリーダー 吉田 勝広 138
- 4.7 「システム部会」のご紹介
一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
清水 健太郎 141
- 4.8 「国際標準化戦略部会」
デジタルサイネージ国際標準化の取り組み
一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
佐々木 守彦 143
- 4.9 次世代のデジタルサイネージ産業を担う人材の育成のために
～DSC「サーティフィケーション部会」の発足について～
一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
サーティフィケーション部会 146
- ◆JPVA:日本パブリックビューイング協会
ますます発展する JPVA:日本パブリックビューイング協会
ディスプレイと社会編集部 147

F A X 申 込 書

大型ディスプレイ & デジタルサイネージ総覧 2017

¥ 9,936 (消費税込み)

《 お申込方法 》

このFAX申込書、またはE-mailにて直接下記(担当者)宛てに申込下さい。



株式会社 日本・社会システムラボラトリー
Nippon Social System Laboratory, Inc

TEL 03-4360-5673

FAX 050-3485-8835

E-mail: info@nslabo.jp

URL ttp://www.nslabo.jp

ディスプレイと社会

編集部 編集長: 川田宏之

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1

渋谷マークシティ W22F

nslabo: 足立 吉弘

申し込み冊数: 冊申し込みます

貴社名			
所在地	〒		
TEL		FAX	
所属部署名			
お役職名			
ご芳名			
お支払い予定日	月	日	(支払い規定 : 日締め、 日支払い)
通信欄			

— 映像・情報社会システムレポートの案内 —

<p>制作中 (予約募集中)</p> <p>2018: デジタルコンテンツ 市場の調査と研究</p> <p>発刊予定2017年 10月 26日</p> <p>¥130,000(消費税別)</p> <p>CD-ROM付 ¥140,000(消費税別)</p>	<p>(予約募集中)</p> <p>2018: テレビ・放送・ 公益メディア市場の 調査と研究</p> <p>発刊予定2018年 1月中旬</p> <p>¥130,000(消費税別)</p> <p>CD-ROM付 ¥140,000(消費税別)</p>	<p>(予約募集中)</p> <p>2018: 次世代ロボット・ パートナロボット市場の 調査と研究</p> <p>発刊予定2018年 2月中旬</p> <p>¥130,000(消費税別)</p> <p>CD-ROM付 ¥140,000(消費税別)</p>
--	--	---

上記調査資料のうちご関心あるテーマがございましたら、口印でチェックしていただき、ご返送いただければ詳細内容をご送付いたします。